

音楽Ⅱ

教科名	芸術	単位数	2単位	学科・学年	3年普通科 アクティブ選択
教科書名	MOUSA 2			出版社名	教育芸術社
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め芸術の諸能力を高め、豊かな情操を養う。				
到達目標 (検定目標)	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽のよさや美しさを感じとって創造的な音楽活動の工夫ができ、表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
成績評価	定期考査・実技試験・提出物・授業態度(遅刻・欠席)などをもとに、総合的に評価します。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	詩の内容を大切に歌おう 明日へのマーチ ハナミズキ 糸 涙そうそう	・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解する。 ・自分なりのイメージを持ち、リズム、速度、旋律、強弱などの要素の働きを生かして歌う。	●	●	●	●
5	いろいろな国の歌曲を歌おう 椰子の実 美しき水車小屋の娘 等	・曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解する。 ・自分なりのイメージを持ち、リズム、速度、旋律、強弱などの要素の働きを生かして歌う。 ・旋律と伴奏との関わりを意識し、独唱に相応しい表現を追求する。	●	●	●	●
6	西洋音楽の歴史を理解するとともに鑑賞の力を高めよう 西洋音楽の鑑賞 水の戯れ 水に映る影	・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを理解する。 ・楽曲の文化的、歴史的背景、作曲者による表現の特徴を理解し、言葉や文章を用いて批評活動をする。	●	●	●	●
7	レクイエム	・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを理解する。 ・楽曲の文化的、歴史的背景、作曲者による表現の特徴を理解し、言葉や文章を用いて批評活動をする。	●	●	●	●

9	我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めよう 涙そうそう	<ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽における曲種の違いにおける特徴を理解する。 物語の情景や登場人物の心情が声や楽器によってどんなに表現されているか理解して演奏する。 	●	●	●	●		
10	ていんさぐぬ花 祭の夢 日本の伝統音楽 郷土の伝統芸能	<ul style="list-style-type: none"> 我が国や郷土の伝統音楽における曲種の違いにおける特徴を理解する 和楽器の音色や奏法の特徴を理解し、基本的奏法を身につけて演奏する。 	●	●	●	●		
11	歌唱表現や鑑賞したりして創造力高めよう ソルフェージュ 上を向いて歩こう	<ul style="list-style-type: none"> 音楽形作っている要素を理解し、それらを生かしてイメージをもって創造的に音楽を作る 即興的な要素のある楽曲を鑑賞し、楽器の音色やリズムの特徴を理解する。 	●	●	●	●		
12	世界の諸民族の音楽を通して自己の音楽観を広げよう ホルディリア 世界の諸民族の音楽	<ul style="list-style-type: none"> 諸民族における声や楽器、身振りによる表現の特徴を理解する。 それぞれの国や地域の音楽文化や美意識の違いと共通点を理解し、批評活動を行う。 	●	●	●	●		
1	表現を工夫して独唱や重唱、合唱をしよう 行こう ふたたび 鳥の歌	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現に必要な要素を理解し、それらの働きを生かして歌う。 自分なりのイメージを持ち、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 	●	●	●	●		
2 3	ポピュラー・ソングを歌おう 道 津軽海峡冬景色 S o M U C H I N L O V E	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と歌詞が表す情景や心情との関わりを理解する。 自分なりのイメージを持ち、楽曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 	●	●	●	●		
<p>【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストや実技試験はもちろんのこと、普段の学習態度（身なり・積極性）が大切です。 苦手意識を持たずにどんどん自分をアピールしてください。 								